

会 議 録

会 議	平成 26 年度 第 5 回 余熱利用の基本方針策定委員会		
日 時	平成 26 年 5 月 26 日 (月) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 10 分		
場 所	豊中市伊丹市クリーンランド 2 階 大会議室	公開の可否	Ⓐ・不可・一部不可
事務局	豊中市伊丹市クリーンランド 総務室総務チーム企画グループ	傍聴者数	0 人
公開しなかった理由			
議 題	<p><議事次第></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 審議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成 25 年度の審議の振り返りについて (確認) (2) 平成 26 年度の審議の進め方について (確認) (3) 事業メニューの提案について <ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミング ・第 4 回委員会での指摘に対する報告 (4) 事業メニュー案の整理方法について <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法上の制約について 3. その他 4. 閉会 		
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 25 年度の審議の振り返り【資料 1】 2. 余熱利用の基本方針策定委員会のスケジュール【資料 2-1】 3. 平成 26 年度の審議の進め方について【資料 2-2】 4. 第 4 回委員会での指摘に対する報告【資料 3】 5. 事業メニュー整理表 (素案)【資料 4-1】 6. 事業メニュー個別シート (例) (素案)【資料 4-2】 7. 都市計画法上の制約について【資料 5】 		
出席者 (敬称略)	<p><委員名簿 (名簿記載順) ></p> <p>高浪 龍平 大阪産業大学 工学部 都市創造工学科 博士 (会長)</p> <p>長澤 藤延 猪名川土地改良区連合 副理事長</p> <p>早川 友治 岩屋自治会 前会長</p> <p>石橋 成一 勝部連合町会 会計</p> <p>奥田 隆一 原田自治会 会長</p> <p>廣田 学 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議 アジェンダ 21 事務局長</p> <p>宮脇 かをる 伊丹市保健衛生推進連合会 会長</p> <p>飯島 正章 伊丹市在住</p> <p>伊庭 晃 豊中市在住</p> <p>西村 加代子 豊中市在住</p>		<p><事務局></p> <p>西垣 事務局長</p> <p>田村 事務局次長</p> <p>他 各チーム長</p> <p>総務チーム</p> <p>企画グループ職員</p>

事務局

それでは時間になりましたので、ただ今より第5回豊中市伊丹市クリーンランド余熱利用の基本方針策定委員会を開催させていただきます。皆様には、大変ご多用のなか、本委員会にご出席をたまわりましてまことにありがとうございます。

はじめに、本日の配付資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

次に委員のご出席状況を確認させていただきます。本日は10名全員の皆様にご出席いただいております。それでは会議に入ります前に、4月1日付で本委員会事務局の組織変更と人事異動等がございましたので、ご紹介させていただきます。

事務局

(職員紹介)

それでは会議を進めてまいります。前回と同様に議事録作成の関係から録音させていただきますことをご了承いただきますようお願いいたします。また、今回ブレインストーミング等がございますので記録のため、カメラでの議事の内容等の撮影させていただくこともございますので、このこともご了承をお願いいたします。また、ご発言の際は、挙手いただきまして会長より指名させていただきますしてから、マイクをご使用いただきますようお願い申し上げます。それでは高浪会長様、会議の進行をよろしくをお願いいたします。

会 長

はい、ありがとうございます。

改めまして皆様、こんにちは。本日はお忙しいなか、また雨の中お足元の悪いなか、本会議にご出席いただきましてありがとうございます。本日、傍聴の方はいらっしゃいませんので皆様で進めてまいりたいと思います。前年度の第4回の策定委員会では主な協議としまして、余熱利用の動向調査の結果のまとめと、クリーンスポーツランドの運営の総括についてご審議いただいたわけです。その議事録につきましてはホームページで公開されているのと、あと事務局から郵送したものが届いているかと思います。さて、第5回、新年度に入りました今回の委員会では次第にも書いてありますように前年度の振り返りですね、4回までに行った審議内容についての振り返りについてご確認いただいたあと、今年度の流れについてご説明いただく予定になっております。次に今後、今回の第5回の内容を踏まえまして、事業メニューの整理、答申に向けての方向性の検討というふうになっていくわけなのですけれども、今回第5回は、ブレインストーミングという手法で、皆様から多くのアイデアを出していただくということを考えております。また流れで詳しく説明がありますけれども、今回はとりあえずたくさん色んなアイデアを出していただくということです。それで、それをまとめまして第6回ではその内容についてさらに詳しく議論をしまして答申にまとめていくという流れになっていきます。特に今日はですね、その中でもたくさんアイデアを出していただいて、皆様が思っていること、考えていることというのをお聞かせいただきたいと思っていますので、是非とも活発なご発言、議論ができますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

まず次第によりますと、審議事項の1)になりますけれども、前年度の振り返りをさせていただきますので、資料1をご覧ください。

これまで第4回の委員会をやってまいりましたけれども、この中でいただいたご意見を集約・まとめたものになっているのですが、ご説明があります中でこれは抜けているとか、少しおかしいとかがありましたらまたご意見いただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは事務局の方からご説明の方をお願いいたします。

事務局

ただ今より事前にお配りしておりました資料1、平成25年度の審議の振り返りに基づきまして昨年度、平成25年度に、合計4回実施をいたしました委員会における審議の結果といたしますか、皆様にご確認いただいたことを改めて、委員会も折り返しとなっておりますので再確認の意味も込めまして振り返りをさせていただけたらと思います。

(資料1の説明)

会長

ありがとうございました。

ただ今の事務局からの説明につきましてご意見等はございますか。A4で2枚にコンパクトにまとめていますので、もし気になるところがあれば、ぜひ言っていただければと思います。

委員

今の最後の2ページの「4. 第4回までの委員会における議論の経過」の最後の部分、『これまで余熱利用施設において利用してきたものと同程度の余熱エネルギーについては、蒸気や温水での利用も視野に入れ、引き続き効率的な利用方法を検討する。そのときは、経済的に持続可能であることが前提となる。』まあこの通りなのですが、その前に、全国調査いたしましたね。ここで、黒字となる施設が、少し前にも出ておりますけれども3割弱であるという調査結果が出ておるわけです。ちょっと前に言ったと思うのですが、同じ黒字でも、公費負担をされて黒字というところも結構あったはずですが、我々としては公費というものも税金だからそれを投入して黒字と言っても、本当の黒字とは思えないのです。だから公費を導入しないところで、なおかつ黒字のところ、確か1割もいかなかったとあったと思うのです。そのあたりが我々としては非常にその研究対象というのですかね、参考になるところだと思いますのでね、そのあたりは具体的なところはどれくらいあったのですかね、公費負担なしの黒字の施設。確か5%くらいだったと思うのですがね、そのあたりを明確にさせていただいて、最後に経済的に持続可能であることが前提であるということは、そこが一番参考になる訳ですから、そこを徹底的に研究なり検討なり調査なり、場合によってはその現地に視察に行くなど、そういう方向性というのが大事ではないかなと思います。前にもそういう意見を言ったかもわかりませんが、重複するかもわかりませんが教えていただけないかと。

会長

すぐには出ないかもわかりませんので、この内容のところは独自で採算が取れている施設が何割かというのを追加して分かるようにさせていただきたいということと、皆様、この

ご意見で問題ないということであれば、一番後ろの文章について、そのときは経済的に持続可能であることが前提となるだけではなく、前提となりかつ独自で採算がとれるものが望ましいといったようなものを付け足せば良いのかなと思うのですけれども、それで皆様いかがでしょうか。異議なければ、『経済的に持続可能であることが前提であり、かつ独自で採算が取れる施設が望ましい』と、一文を加えさせてもらいたいと思います。他にご意見はございますか。

また何かございましたら後でも構いませんので言っていただければと思います。それでは、次に行かせていただきたいと思います。続きまして審議事項の2)ですね、今年度の審議の進め方について説明をいただきます。これは私たちが諮問を受けております余熱利用の基本方針策定に向けてできるだけですね、効率的に今年度4回で答申まで持つていくために、どのように進めていけば良いのかというのをこちらからご提案するものですので、ご説明を聞いていただければと思います。それでは事務局からお願いします。

事務局

はい、それでは資料2-1、2-2をご説明させていただきます。

(資料2-1、2-2の説明)

会長

ありがとうございました。

これに関しまして何かご意見等ございますでしょうか。

第4回以降は、書いてありますように、今日出てきた意見を集約したものについてさらに深い議論をするということです。それについて7回、8回で答申にまとめていくということになります。特にここでご説明したいのは第6回のところで検討事項を整理して、その良し悪し、メリット・デメリットなんかを議論できたらと思っておりまして、第5回は良し悪しにかかわらず、とりあえず案を出していただきたいと考えています。今日は、とりあえず何でも良いから、夢でも良いから、どんどん意見を出そうという回にさせていただこうと思っております。意見ございませんでしょうか。大丈夫でしょうか。

それでは、さっそくですけれども、ブレインストーミングということで進めてまいりたいと思います。ブレインストーミングの時間は約2時間を予定しております。ブレインストーミングってなんなのかということですが、ブレインストーミングをやったことのある方、いらっしゃいますか。ということで、まだやったことないよという方も多いと思いますので、もう一度ブレインストーミングってなんなのかというのを簡単に説明させていただきます。今お配りしているのは、事前の会議の案内のときの裏側にブレインストーミングとはこうですよというものをお配りしています。このときをお願いしておいたのは、今日ご提案できるものがあれば事業メニュー案については電気を使うのか蒸気を使うのか温水を使うのか、またはエネルギーを使わない事業なのかということと、その特徴についてご発言いただけるようにまとめておいていただければということでご案内させていただいておりました。

さて、ブレインストーミングとはというところですが、読ませていただきますと、「ある議題についてアイデアを出したい場合や問題点を列挙したい場合などに複数人が集ま

って自由に意見を述べる方法です。この方法により新たな発想を生み出すことが期待できます」ということですね。ブレインストーミングにはルールが大きくは四つございまして、四つが前のスライドにも出ておりますけれども、これが重要なルールですので是非、机の前に置いておいていただきたいのですけれども。まず批判はしません。だから良し悪しにかかわらず、ひよっとしたらそのとき悪いと思っても結局、それもう1回考えてみないということになることも多々ありますので批判はしません。その次、自由奔放。ぶっ飛んでも構いません。テーマから逸れるというのはちょっと困るのですけれども、ある程度テーマに関連性があるというものにつきましては制約しないということですよ。その次、便乗歓迎とありますが、これは他の方の意見を見ながらですね自分の意見を出してもいいです。それ面白いね、じゃあ私もこう思うよと、乗っかってもいいです。乗っかられた人は不快にならないようにご配慮ください。あと、質より量ということで、たくさん意見を出してとりあえず今日は意見を出しっぱなしで時間があればちょっとまとめていきたいと思っているのですけれども、基本的には出しっぱなしでいきたいと思っておりますので、たくさん意見を出していただきたいと思っております。

ただ、このご案内しました事業メニュー案を2時間にわたって出していけという、そんなことできませんので、ちょっとずつ趣向を凝らしながらやっていきたいというふうに思っております。私は今、会長という席ですけれども、ブレインストーミングをするにあたってはファシリテーターという案内役です。進行役・案内役のことですけれども、それも中立的なということになります、中立的な進行役ということで会長の席からは離れることにします。私も案として意見を出させていただきますが、基本は皆様から出していきたいというふうに思います。それについて何かコメントするとかいうのも私はしませんので、どんどん4大ルール、スライドにも出していますが、この4大ルールに従ってどんどんやっていただこうというふうに思っております。じゃあブレインストーミングってどんなかたちをするの、と色々ありますけれども、とりあえず皆様に沈黙のブレインストーミングというのをやっていただきます。

今お手元に付箋と黒ペンをお配りします。沈黙のブレインストーミングはですね、ひたすら自分の意見を書いて貼るという作業になります。次のテーマに関しては黒いペンを使って書いてください。今これからブレインストーミングの一つをやっていただきますが、それに関してのテーマをお配りしています。テーマ1、住んでいる街、または自分の身近な地域、住んでいる市・町について思うことを、ひたすら付箋に書いてください。付箋がありますね、付箋に黒ペンで皆様が住んでいる場所について思うことを書いてください。

一つ例を挙げたいと思うのですが、例えばこの豊中市さんの総合計画でいきますと、基本方針が人口減少社会に対応した生活環境の整備と自立した都市づくりというのが基本方針だそうなので、例えば豊中市さんが考えていることは人口減少だよということですよ。それが良いか悪いかは書かなくてよいので、何かキーワード的に自分が住んでいて思うことを書いていただいたら結構です。それもキーワード的にこういう漢字四文字とか的確なことで書いていただいた方が見やすいですのでこういうふうに書いていただいたらと思います。伊丹市さんはですね、みんなの夢、町の魅力、共につくろう伊丹ということで、基本方針としては協働社会というのが基本方針だそうです。ですので、伊丹市は協

働社会というのがあるということです。なので、皆様が市や町について思うことを書いていただいて、それが書けたらテーブルにボンと置いていただいたら結構です。私に取りに行っておここにペタペタ貼っていきますので。という作業を10分から15分くらいでやっていただいたらなというふうに思います。

委員 大きな枠で伊丹市と豊中市ですか。例えば私が住んでいる地域も含めてですか。大きくは伊丹市・豊中市で、小さくは住んでいるところ。

会長 自分の住んでいる地域、広い意味でも狭い意味でもいいですから、それについて思ったことを黒ペンでなるべく大きな字で書いてください。

委員 一つにつき1枚ですか。

会長 そうです。思ったキーポイントを一つ。それを山盛り、このホワイトボードいっぱいになるくらいに一人10個でも20個でも何個でも構いません。どんどん書いていってください。できたものを貼っていきますので。

(沈黙のブレインストーミング)

会長 次はですね、青のペンを使ってください。テーマ2は、クリーンランドについて思うこと。このごみ焼却施設でも良いですし、余熱利用施設、なんでも構いません。限定すると偏ってしまうので。ここにあるものですね、ごみと余熱利用施設について思うことをまた沈黙のブレインストーミングということで、青のペンを使って、これも10分くらいでいきたいと思います。

(沈黙のブレインストーミング)

会長 さて、いかがでしょうか。

今ですね、テーマの一番目としては市や町、自分が住んでいるところについて思うこと。その次はクリーンランドについて思うことというのを何も意見を交わさずにとりあえずペタペタと皆様が思ったことを書いて貼りました。それを見回すと、どういう関連があるのか、みんなが住んでいる町で良いこと悪いことというのと、あと、この焼却施設、クリーンランドについて良いなと思うこと悪いなと思うことなど、そういったものをざっとまとめていきたいと思います。ちょっとお時間をいただきますので10分休憩をしましょう。3時に戻ってきてください。それまでにわかりやすくこちらでまとめさせていただきます。と思います。

(10分間休憩)

会 長

皆様が休憩している間にがんばってまとめてみました。まとめますと、その他も結構ありますが、大きく六つのカテゴリーに分けられると思いました。良い・悪いを含めて1) サービスという部分と2) コミュニティの話と、その他は色々あるのですが、その隣は3) 文化、特に豊中さんなんかは文化、総合計画も重点的に入れておられましたので。あと、4) 環境と5) 安全、これは重要ですよね。そして6) 少子高齢化。このような大きなカテゴリー、分野に分けることができました。今は、このテーマ1、テーマ2を通じてこのように分けることができましたけれども、私が考えるにこれは皆様10人の中の潜在的なニーズだと思っています。これが解決できるような、またはこれがもっと充実できればいいのではないかなというようなニーズだと私は思います。最終的にはこの三つ、その他を含めての七つのカテゴリーと皆様が今回これからご提案いただく施設とのマッチング、これからニーズとシーズのマッチングを最終的にできればと思っています。次ですね、とうとう次がメインですけれども、次が皆様これまでにご連絡していただいたときにテーマ3は、余熱利用する施設についての具体的なご提案ということになりますけれども、これはホワイトボードを使い切ってしまったので前に模造紙を置いて議論を進めていきたいと思っています。ちょっとだけ手前の方に来ていただけますでしょうか。模造紙を置かせていただきます。

最終的にはマッチングすると言いましたが、とりあえず批判はしないというルールですので、今までやったことは見ないで、とりあえずなかったことに始めていただいたら結構です。

それでは、前のように自分のご意見を付箋に書いて、それを貼っていくわけですが、貼るときに一人ずつ今度は発言をいただきます。マイクがありますので、「貼ります」と言うってから「こうこうで、こういうメリットがあります」と言うってから貼って行ってください。

委 員

それは余熱施設で。

会 長

はい。例えば温室ですよと書いて、温室というのは蒸気を使いますか、温水を使いますか。例えば蒸気を使う温室だったら、温室と書いて蒸気のところにペタッと貼る。そのときに温室というのはこんなメリットがあるよね、美味しい植物、食べられるような、野菜が食べられるよねとか言いながら貼っていただければ。それについては、皆様意見はしないでください。

委 員

私は温浴施設、いわゆる、風呂、足湯、シャワー含めての温浴施設ということで書かせていただきました。今までありましたフィットネス、プールなど大規模な施設整備については、行わないということで、今後、高齢化の進展、先ほどにもありましたけれども健康志向や温泉ブームなどによって需要が非常に見込まれるということです。それと特に近隣地区に風呂屋がなくなりまして、風呂に行くのにも遠くに行かなければならないと。ちょうどここにあれば気軽に利用できるじゃないかということです。あと、客を呼ぶアイデアを検討しないといけないと考えておりまして、それはまたあとで言います。

委員 私の方も全く同じですけれども、私はスカイパークでシルバー（人材センタースタッフ）として働いておりますが、あそこは雨が降っても濡れないというところが少ないのでよ。屋根が少ないというところで、ほっとできるようなところ、当然お客さんの中には飛行機を見に来られるお客さんが多いので、何か足湯でも浸かりもって飛行機見たい。スカイランドHARADAの方は子どもさんが野球でよく使われるのですね。あそこは子どもさんが使われるからご父兄の方が一緒について来られる。冬だったら寒いのに待っていることが大変だから足湯に浸かりもって見たらぜひいたくかなという気もするのですが、ありがたいかなということで書かせていただきました。以上です。

委員 お金がかかるかどうかわかりませんが、市の車の電気自動車化。対外的にもPRが大きいと思われまますので。なかなか莫大な費用もかかるとは思います。

委員 グラウンドゴルフをされる方がとっても多いです。その運動施設というものが十分ではなくて。高齢者の方ですから、無料のバスを使ってここにも来るのではないかなと思ひまして。それプラス、ちょっと誰かもおっしゃっていましたがけれども、足湯があればより利用者も増えるのではないかなというふうに思ひます。

会長 分けていただけますか。その他と足湯に。

委員 はい。

委員 豊中でも一部では、カーシェアリングを行ってあります。電気自動車を主体にしたものを作って、電気を使いながらエネルギーを使うことを目的に、電気を使ったカーシェアリングができればと思ひます。

委員 熱帯魚の飼育に温水を使ひます。主に観賞用で、これを飼育して市民の方にもちょっと分けたりとかできれば、収入にもつながるのかなと。それとプールの施設を見学したときに老朽化で水漏れもあつたので、岩盤浴だったら大量の水も要らないので施設的にできるかなと思ひました。観葉植物の栽培というのも、熱帯とか亜熱帯の植物が主みたいですので、これも栽培して安く仕入れることができれば収入につながるのかなと。温室もあつて、それは観賞用として何かあればいいなど。鶴見緑地の「咲くやこの花館」のような大きいものであるとか、江東区の「夢の島植物館」などもあつるので、小規模なものだったらもしかしたらできるのかなと。

委員 夢の中の夢ですが、今新しい蒸気発電をされてはいますけれども、もっとエネルギーを全部使えないかなというところで発電を充実する。さらなる発電。この間、施設を近くで初めて見させてもらひましたがけれども、高い温度を冷えるまで冷ましているのですね、その間のエネルギーを使おうと思つたら使えると思ひます。最近でしたら地熱発電、ここ

では無理でしょうけども、あと温度差発電とか、そんな感じで多少なりとも電気を増やす。もう一つ、最近話題になっている燃料電池。先ほどの例に充電スタンドもありますけれども、あれは充電ですごく時間がかかるので、そのための施設が必要だということも書いていましたけれども、ガソリンスタンド並の時間でできるとかですね。それによって、当然近い将来これを使ったようなものになってしまうのではないかなという気がしますので、そういった可能な限り発電をして、ここはとにかく電気をいっぱい作ろうと。その電気を使っての温水、蒸気利用をしたらどうかと思います。

委員

例示にあった電気自動車の充電ステーションは賛成です。先ほどのご意見と一緒にすけれども、足湯と岩盤浴、私も書いていました。あと四つは、一つは道の駅とかはできないですかね。その他になりますね。車が止められて外でもトイレに行けたりとか、地元の農家さんの野菜を売ったりできる場所とかですね。それからアウトドアの拠点、サイクリングとかランニングとか、みんな家からどこかをめがけて、そこでやる人が多いので、ここまで車で来て、ここから猪名川の堤防でやって、ここでシャワー浴びて帰れるというそういう拠点はどうですか。前回のプールの利用人数はどんどん減っているのですが、子どもの人数はそんなに減っていないのではないかと私は言わしてもらったのですが、逆に子どもが内容によっては来られる可能性があるなら何か親子で参加できるような施設とかメニューがあったらどうなのかなと思うのですが、具体案がないのですが。大人だけとか子どもだけとかではなく、ファミリーで楽しめるものはどうでしょうかという話です。それと、全く温水や蒸気に何も関係ないのですが、こんなのがあったらいいなと思うのが迷路。昔、近畿圏で色んな遊園地、宝塚ファミリーランドとかエキスポランドとかにたくさんあって、夏休みに巨大迷路とかいって子どもたちが来たものですけれども、今どきないですよ。今の子どもたち迷路とかしたことがないのではないかなと思うのですけれども、そういうのを作ったらどうなのかということです。

会長

迷路は冬でも暖かかったらいいということで真ん中に。屋根付きですし。室内迷路みたいに。それとアウトドアのシャワーとおっしゃったのも真ん中に。

はい、では次。

委員

私からは電力を供給するというメニューで三つ考えました。一つはスカイパークに電力を供給する。ここで発電をして電力会社に売ってそれをスカイパークで使って、料金を引いてもらうとか、そういう契約の仕方もあるのではないかなと思っています。使う場所を特定して供給するかたちができないかなというのが一つ目です。二つ目は、同じような考え方で伊丹空港の近くにあるので、そこで莫大な電力がいると思うので、そこで使うというメニューです。単純に建物の中でエレベーターとかエスカレーターでもいいですし、エネルギーを供給するというだけでもいいと思いますし、そういう使い道があるかなと、近くにあるので。三つ目が最後なのですが、市民に何か貢献できないかという意味では市バスが良いかと思っています。市バスをEV（電気自動車）化することが今後できれば、その充電ステーションをここに作る必要はないと思うのですけれども、特定の用途として使

うというアイデアです。以上です。

会 長

私からも一ついいですか。子どもたちが遊べる施設に便乗してスケートリンク。これはちょっと事務局からご提案というか、こんなものもあるのではないかという話をいただいて、私が提案したいのですけれども、熱交換なので熱いだけじゃないのですよ。熱いものを冷たくできるのですよね、クーラーと同じ原理です。スケートリンクは関西に五つしかありません。ものすごくエネルギーを使うので採算が取りにくいのですけれども、去年の秋にできた西宮のスケートリンクは、職員5名で運営していて採算が黒字だそうです。で、観客席をなくして、かつ近隣の大学と連携している。関学さん（関西学院大学）がスケート部を持っていて関学さんが夜間使用し、昼は一般開放している。そういう施設もあるのでこれは面白いなと思って提案させていただきました。

はい、どんどん行きましょう。

委 員

同じですけれども、地元のJA、企業と協力して、野菜の販売ですね。ここに書いておられますけれども、植物を育てて販売したらどうですかということです。

委 員

焼却施設を解体して緑の公園になりますけれども、そこにテニスコートを作ったらどうかと、木だけを植えるのではなくて。汗をいっぱいかいてもらって、シャワーを使っただくと、温浴施設をね。テニスコートぐらいならできるのではないかなと思っています。近隣からも結構来ていただけますし。また緑の公園に健康遊具、今、流行りになっていますね。伊丹市も今、瑞ヶ池にこういう健康遊具をたくさん置いて、今健康ブームですので、背を伸ばしたり、ぶら下がったりするものを、公園の周辺に設置していただいて、ウォーキングコースかジョギングコースかそういったかたちで汗かいてもらって、この施設を使ってシャワーを浴びていただくと。それともう一つは、さっきもおっしゃられましたけれども、レンタル自転車の基地。ちょうど猪名川の堤防が中洲になっていまして、あそこがウォーキングなり、ジョギングなり、サイクリングなりのコースになっていますので、クリーンランドが基地をお貸しして、周辺を周っていただいて、帰ってきて風呂なりシャワーを浴びていただく。ちょうど猪名川の堤防がありますので、中洲になって一周できるようなかたちになっていますので、ちょうどいいのではないかなと提案させていただきました。

委 員

スカイパークの話に便乗で、大昔に少年野球で1回行ったことがあるのですが、あそこで飛行機見ながら何か食事とかできたらなというのがあって、できたらエネルギー関係はこちらから供給して、あそこでレストランを作って、子どもたちにはファストフードか何かで1階で食べてもらって、2階は和食のような年のいった方なども利用できるような、飛行機を見ながら、そんなこともいいのではないかなと。空港が目の前にありますので全国のいい食材を調達したり持ってきてもらったりとかですね、そのようなことも活用したら良いレストランができるのではないかなという一つの希望です。それと温水施設として、先ほどから色んなものが出ていますが、ただのお湯だけでは効果が低いので、全国の

温泉めぐりと、実際にお湯を持ってくるのは大変だと思うので、よく最近売っていますメーカーのものとかを、今日は草津の湯とか、できたらなど。それから、熱に関しては前のときに熱を運ぶようなものはないというようなお話も聞いたのですが、いつぞやの新聞で熱を宅配できるようになったと記事で見たことがあります。せっかく、ここで熱が消えてしまうのは、もったいないので、なんとか調べて熱の宅配ができないかなと思っています。

委員 先ほど、先生がスケートリンクとおっしゃっていたのですが、私も本で見たことがあってスキー場と書いていたのですが、さすがにちょっとそれは規模が大きすぎるので、高山植物園というものを、逆に冷やすという意味であつたらいいかなと思いました。

会長 はい、他にございますか。

委員 サイクリングの話をしていたのですが、伊丹からここへ来るとき自転車のときは河川敷、猪名川のところ、あそこ怖いところもあります。実際自転車に乗っていると。それと一番ちょっと乗りにくいと思うのは神津大橋。あそこは低いですね。あれもし、自転車でぐるっと回るのだったら、あそこも利用させてもらえるなら、もっと高く安全にしてもらって、猪名川のところを本当にサイクリングに使うなら整備をしていただきたいなと。これはここの提案になるのかどうなのかと考えながらなんですけれども、そういうこと、安全面を考えると今のままではちょっと難しいと実感しております。私が高齢ですので、若い方は決してそんなことないと思うのですが、やっぱりちょっと怖いなという感じがしないでもないのですが、これも提案になるのでしょうか。

会長 またあとでの話になりますけど、こういったご提案をするときに付随してお願いしないといけないことですね。地域、コミュニティというのがあったのですが、安全とか防災とかも絡んでくるのですが、作るにあたって組み合わせたものが良いとか、あとセットで提案というのはあとで出てきますので、とりあえずは書かなくても結構ですので、また次回以降考えて行きたいと思います。

とりあえずは事業案ということでどんどん出していただけたらと思います。他にございますか。

委員 足湯ですけれども、水道を使うのはもったいないから工業用水、これだったら足だけでもいけますので、クリーンランドにも来ていますね、工業用水。

事務局 下水処理水を再利用しています。

会長 再利用水がありますので、あれが一番きれいです。

委員 下水処理水ですか。あれはちょっと臭いが残っていますのでね。

会 長 大丈夫です。飲めるくらいです。

委 員 蒸気をですね、植物の育成に使えないかなと。蒸気をどうすれば使えるかということで、温室で植物育成に使えないかなということと、蒸気を蒸留しているので比較的きれいかなという印象があるので、それを水耕栽培に使うとかですね、それにエネルギーを足して、そんな用途にも使えるのかなと思いました。

会 長 他にございますでしょうか。では私からもう一つ。お子さんも楽しめる実験室。これは基本としては大学が使うことになると思うのですが、これだけの熱エネルギーがありますので使えると思います。それに便乗するかたちで子どもたちも実験できるような施設、そういうものが私の提案です。

委 員 下水処理場には、学習施設やエネルギーの展示ブースがあるのですが、こちらの方はエコとかリサイクルを全て含めて一体化して学べるようなところがあればいいんじゃないかでしょうか。そこに雨が降っても大丈夫な広場を作って、色んなイベントとかを開催すれば人が増えるのではないかなと思います。

会 長 ありがとうございます。アイデアがなくなってきましたら、温めるのではなくて冷やすで考えてみてください。冷やすで何かアイデアがある人、どんどん出していただければ。温かければ熱交換で冷やすこともできますので、冷やしてメリットがあるもの、冷やしたらこんなのできるのではというのがあればどんどん出してってください。

私から一つ。備蓄倉庫、備蓄基地ですね。防災でいうと、ここにずっと電気が来ていますから震災で関電が止まっても、ごみ焼却さえ続けば電気確保できますので、冷たいものを冷やしておいて、冷凍食品とかを備蓄するとか、水を冷やしておくとか。電気供給できますのでコンセントを置いておけば電話の充電であるとか、NTTさんが来ても電話基地ができますので、防災拠点になるような備蓄基地、これは電気、蒸気、温水、全部を使ったものです。

委 員 これは例えば、小屋を建ててその辺の地域の人とかの物もそこで冷やすとか。

会 長 そうです。市で備蓄倉庫というのはいくつかあるのですが、例えば新幹線の下とか、そういうところにいっぱいコンテナとか置いてあるところがあると思うのですが、そういうところに、乾パンとか何もせずに日持ちするものが置いてある。それプラス、こういうふうにエネルギーが供給できるのであれば、冷凍して置いておけるもの、例えば医療品ですね。震災が起きますとけがをしますから、色んなものを冷やして置いておかなければならない。そういうものを置いておける基地はないのです。それは電気代もかかるし、安定して電気が供給できないという二つの問題があって、なかなか病院以外に医療器具を備蓄しているところはないです。大阪府や大阪市は別ですけども、こういった伊丹市や豊中市といったレベルではない。こういうのが置いたら地域防災にもものすごく貢献する。

委員 地域にもものすごく貢献するというのは例えばどういうことですか。

会長 薬は冷やしておかなければならないというのがあります。長期保存できる薬もなかなかないので、医療器具も冷やしておかなければならないので、そういったものを備蓄する。食べ物も冷やしておかなければならない。

委員 これはどれくらいまで温度を制御できますか。例えば製氷とか。

会長 スケートリンクができるくらいです。

委員 熱交換で、マイナスですね。

会長 はい。

委員 そこまで冷やせるというのであれば、結構需要があるのではないですか。冷やすことで。

委員 そこまでできるのならば、足湯の冷たいもの。

会長 自由に、なんでもとりあえず書きましょう。電気もありますし、土地もありますのでなんでも。

委員 例えば農家、この辺は軟弱野菜の産地なのですが、保管、保冷、そういうことも可能ですか。

委員 バードパークで、ちょっと温室に似ているのですが、熱帯に住んでいる鳥で色のきれいな鳥をいっぱい飼って、シンガポールに大きなものがあるみたいなのですが、そのミニ版があったらいいかなと思いました。

会長 花鳥園ですね。

委員 温室は、売るほうのお花を作るということですか。

会長 見ていただくだけでもいいですし、農場を運営してもいいですし、独自産業的に食堂まで自己でやって採算を取るという方法もありますし。それも組み合わせだと思しますので、とりあえず案としてペタペタっと貼っておけば、これとこれを組み合わせるとなっていくますから、とりあえず数多くアイデアを出す。今日は質より量ですからどんどん出してください。

私出します。隣にごみのリサイクルの3Rセンターがありますので、3Rセンターで集めたガラスを再度ガラスに加工するリサイクル工房を提案します。

委員 熱帯植物園ってありましたか。

会長 観葉植物と一緒にですね、それも貼っておいてください。はい、どんどんいきましょう。

委員 学習施設に関連して、電気を使えるから電気を使ったアート作品、イルミネーションのようなもの、にぎやかなもの。これもぜひ小学生とかに好きにやってもらいたいかなど。同じような考え方で、親子向けでこういう学習に使えるような実験ですかね、バッテリーを使って何かを動かすとか、そういう文化的なところを追加したいです。

会長 だいたい出ましたでしょうかね。結構皆様のアイデアが固まってきて新しいアイデアが出にくくなっていますので、この表をもうちょっとわかりやすくまとめさせていただきたいと思いますので、5分ほど時間をいただけますでしょうか。ちょっと休憩を入れたいと思います。

(5分休憩)

会長 お待たせしました。今までの三つのテーマをこれから一つに集約させていこうと思っています。結構、皆様から活発に意見をいただきましたので、うまくカテゴリーに分けられているか分からないのですが、とりあえず、テーマ1とテーマ2から抽出したニーズですね、文化、環境、安全、少子高齢化、コミュニティ、サービス、その他ですね、というところに事業案を張り付けてみました。そうすると見えてくるのは、少子高齢化とか安全をフォローするような施設というのがどうもないのかもしれない。もうちょっと提案できるのではないかというようなこと。あと、こちらのボードに書いてあるその他というのもの、対応するような施設というのもあまりご提案がないようですので、もしそれですね、マッチング、このようなニーズに対してそれに対応できるような施設というのでいいアイデアがあれば、また追加でどんどん出していただきたいと思います。ちょっと見難いかもしれませんが、皆様が出していただいた意見を見ながら、ここに書いていないものを出していただければ、また、いい施設案が出るかも知れないということで、それについてはこの4大ルールに従って批判せずに夢でもいいので、どんどん書いていくということでもう少し足していきたい。特にその他、安全、少子高齢化、ここら辺が少ないかなという気もしますのでどんどん出して行っていただけたらと思います。

一つ、健康増進というのは、スポーツ施設というのは少子高齢化にも入ってくるかと思うのですが、そういうスポーツ的なものの提案もありましたが、追加していただけて結構ですので、こういったものが少子高齢者向けの保険にといったらあれですが、もうちょっと具体的に書いていただけて。はい、どうぞ。

委員 例えば、運動施設でも雨の日でも行けるような全天候型、ドーム型が伊丹市にはないです。豊中市もお聞きしたら豊中市もないそうです。そういうものができればいいかなとい

うふうに思います。

会 長 それは体育館というわけではなくて、運動施設でということですか。

委 員 多目的な運動施設です。

会 長 サービスでも少子高齢化でも構いません、ちょっと書いていただけますか。

委 員 ドーム型というのですけれども。出雲市が一番初めにされて、それがドーム型の多目的
広場だったようです。

会 長 体育館だったら下が床ですが、床ではなくてということですね。なるほど。
はい、他にございますか。

委 員 単純なのですが、少子高齢化に関して保育施設、増えているとは思いますが、この際、
この場所を使って一つ追加したいと思います。

会 長 温水プール付の保育園とかありますものね。人気がありますね。

委 員 それと併せて介護施設。温水もあればよいかと。

会 長 はい、そんな感じでブレインストーミングを進めさせていただいています。どんどん思
いついたこと、関連させてピットきたものを躊躇せずに書いてください。

委 員 蒸気を利用したサウナ。

委 員 先ほど、先生が言われていましたように冷凍倉庫なのですが、大阪空港も近くですので。
賃貸ということで。

会 長 （分類は）どこでもいいのですが、安全かサービスで。

委 員 先ほど言われていましたように、薬業者なんかは倉庫の需要があるらしいです。

委 員 砂風呂はどうでしょう。

会 長 地域性、地域の特色を生かした何かあるでしょうか。

委 員 豊中市の花がバラでしょう。伊丹市の市の花は。

- 委員 ツツジです。
伊丹には荒牧のバラ公園とか新伊丹のバラ園があります。
- 委員 神津地区は「ひょうたんの里」といって、ヒョウタン栽培を進めています。加工して販売したり、かなり大々的にやっています。活用させていただければありがたいです。
- 会長 他に地域的にありますか。その他と組み合わせてみたりとか。バラ園でもいいですし。
- 委員 例えば、飛行機を見に来られている方がもっと見やすいように、望遠鏡とか10円入れば映るようなものがありますよね。今、飛行機の中にも、ディズニーの絵だとか真央ちゃん（浅田真央選手）とか、嵐（アイドルグループ）なんかもありました。嵐なんかは、朝早くから名古屋から（見物に）来られていました、嵐（のペイントされた飛行機）を見るために、お孫さんを連れて来られています。飛行機も結構工夫を凝らしていますので、そういうものを見やすく大きく見えるようにできないかなど。
- 会長 展望施設ということでよろしいでしょうか。
他に何かありますでしょうか。
- 委員 豊中の庄内下水処理場の上に多目的広場があったのですが、かまどが置いてあったりして、野外活動ができます。また防災上、避難場所にもなります。今は閉鎖されたと聞いています。
- 会長 24時間とありますが、これはごみ焼却場が24時間運転しているのですけれども、何かこちら辺に24時間あったらいいなと思うものはありますか。こちら辺にコンビニはありますか。
スーパー、おいしい店がない。これはフォローしておいた方がいいですね、こちら辺はスーパーがないので、コンビニはあるが。何か、こうすることによって経営が成り立つのであれば、あったにこしたことはない。実現可能性は関係ないですので、質より量ですから書いていた方がいいと思います。
コミュニティでいくと、南北格差が出ているのですが、こちらへんはいわゆるNIMBY（ニンビー）と言ってですね。“Not In My Back Yard” 英語でいうとそうなのですが、迷惑施設というものです。下水処理場も迷惑施設だし。空港も迷惑施設です。そういうものが集中している場所ですね。そうなので、そういったものが格差を生んでいるのかもしれないですし、そういうものも含めて、でもニンビー施設だけでも、エネルギーを持っていますのでそういうものでメリットを出していけばいいわけですよ。そういったものが何かそういう負のものからメリットに変えていくという点で何か案があれば出していきたい。うるさいし、臭いしというけれども、何かほっとできればいいじゃないかということで、それでも魅力があるものがあればみんな来てくれるだろうし見直してくれるかもしれない。うるさい、臭いだけではなくて、「ああ、ここ、こんなんあるんや」という

のがあれば地域格差というのがなくなってくるかもしれないし、人が集まってくればにぎわってくるだろうし、そういった施設が提案できないだろうか。福祉が発達してきているというのがありますし、老若男女が生活できるような市や町にしましょうという取り組みが進んできているので、それをもっと促進できるような施設というのがあるだろうか。そういったものも、もし新たに気付くのであれば出してほしいということです。

不便なのは不便ですが、不便でも来たくくなるような施設があれば活気がでてくるのかなと思います。希少性があれば人が集まってくるのではないかなと思ってスケートリンクなんかも挙げたのですが、兵庫県でいえば西宮市しかないわけです。プールだったら結構いっぱいありますが、スケートリンクというのは希少価値がありますので、そういった点で提案させていただきました。何か全然この周辺にないよという施設でエネルギーを活用できそうな施設があれば提案してください。

(付箋を見て) こっちはどうでしょうか。桜というのがありますが、エネルギーは使いませんが、桜をたくさん植えたら絶対人は来ます。これは確実です。何か歴史のあるものとマッチングするのもありかもしれません。図書館が充実。なるほど。

委員 この通りは結構有名ですよ。桜がきれいとか。

会長 それで人が寄ってくるので、それに関連した施設があってもいいかもしれませんね。これをご提案したい人はいませんか。図書館が多いし読書を推進しているのであれば、図書館がもう一つあってもいいのではないかと、それは少子高齢化ですが。桜の続きでいくと緑が少ない、花がない、けれど豊かなところもあるということでそういったものがこの周辺でできないかということですよ。そういったものも何かありますか。

委員 例えば前、昆陽池なんかでバーベキューができたと思うのですが、今はできないのかな、親子でバーベキューが楽しめるようなものが一緒にあればよいかなど。

会長 河川法が厳しくなって川ではできなくなっているのです。だから桜を見てもそこで食べることはできませんので、例えばこういった安全が確保できるところで桜を見ながらバーベキューする。バーベキューというのは防災に使えるような非常時用に対応した施設作りというのも必要ですよ。バーベキューと書いていただければ。

あとはどうでしょうか、匂いが嫌とか、煙が出るのですが、例えば匂いが嫌だったら、匂いのいい場所を作れば良いのではないのでしょうか。たくさん、また緑を増やして、いい匂いのする場所というのは提案できないのでしょうか。暖かくも冷やすこともできますので。だんだんきれいになってきているのであれば、もっときれいにしたらいいのではないのでしょうか。そういったものが促進できるような施設はないのでしょうか。

あとはここですよ、安全でいうと事故が起こったら不安というものもありますけれども、基本的にはそういった防災施設に関するニーズであるとか、救急が日本一ということですので、さらに維持するのであれば、ここに消防署みたいなものを置くとか。消防署があれば完全に防災施設ですよ、防災ができる救急施設、分署でも良いのかもしれない。

消防署があってもいいかもしれません。停電でも電気が供給できるのであれば絶対防災に役立ちますので備蓄倉庫だけではなくて、そういう消防署的なものをここに置いてもいいかもしれません。

会 長 人口が減少していることで、人口を増やすにはマンションを作るしかないかもしれません。ここにマンションを作るのは難しいかもしれませんが、その話はあとでまた出てくるのですけれども、ニーズがあれば何か作ってもいいかもしれません。みんなが住めるようなもの、または住みよくなるようなもの、公園とか運動施設が書いてありますが。

公園というのも一つの手かもしれません。何かができる公園、もうちょっと具体的にどんな公園とかイメージがあれば、ぜひ発言していただければと思います。

ざっとニーズの解説をしましたが、それでぱっと思いついたものがあれば出してください。

委 員 桜の話ですが、安全かわからないのですが、まちのイメージアップ、より安全なまち。

会 長 他にありますか。はい。

委 員 迷惑施設の逆を取って、音楽の練習施設。

会 長 うるさいからね。うるさくてもいいやと。横も川ですからね、コンサート広場でもいいですよ。音出しても大丈夫。

委 員 それだったら、剣道の道場とか。

会 長 迷惑施設を逆手にとってということですね。うるさいし、臭いかもしれない。そういうものをニーズに代えていく。

委 員 高齢者用の団体用のバス、タクシー。

会 長 EVタクシーとかもありますからね。

委 員 安全面からみると、お年寄りの方がよく自転車で事故を起こしているのです。例えば、団地で5名なら5名、10名なら10名、その地区におられたら、バスが適当にその時間に来て送ってあげる。帰りもそのようにしていただいたら、事故も少なくなるし楽しく外に行ける。同じ年の人のコミュニケーションもとれると、そういうのがあれば楽しいかなと。

会 長 ここで発生した電気を提供して、ということもできますので、エネルギーを利用した施設になると思います。

他にありますか。

委員 アートのまち。若いアーティストを育てるために、彫刻なり、そういうスペースがあれば結構ユニークなものに。ただの建物ではなくて、野外にオブジェのようなものを置く。スペースもあるし、人も結構集まってくるから。

会長 場所の提供ですね。電気だけ使って。それも面白いですね。イベント広場ですね。

委員 瀬戸内海の直島とか、産業廃棄物のマイナスのイメージがあつて。それを逆手にとって。

会長 3Rセンターで出たものを無償で提供してとか。
いいですね。どんどんいきましょ。

会長 そろそろ時間ということですけども、何か今思い付いたものがあれば。

委員 フリーマーケット。

委員 例えば森とか池を作るとか。

委員 京都の八瀬の釜風呂のようなものがあつたらおもしろい。砂風呂とか釜風呂。

(ここで、ブレーストーミング終了：結果については別紙資料のとおり)

会長 よろしいでしょうか。

2時間弱にわたって本当にいっぱいになるほど、ご意見をいただきましたので、これをもうちょっと分野別に分け、それに対するご提案いただいた内容に対してのメリット・デメリットをこちらで判断させていただきながら、次回にまとめとしてご提示したいと思っています。そのご提示の仕方はあとでご説明がありますし、あと前回課題にしていた経緯についてもご報告がありますので、まずそれからいきたいと思います。

今、資料が配られておりますが、資料3が第4回委員会での指摘に関する報告ということで、資料4-1が「事業メニュー整理表」、資料4-2が「事業メニューの個別シート(例)(素案)」、資料5が「都市計画法上の制約について」ということの資料四つになります。届いておりますでしょうか。それではですね、資料の順番にしたがって、まずは前回ご指摘いただいております、熱運搬技術と電気運搬技術について事務局から報告をいただきます。お願いします。

事務局 それでは第4回委員会の指摘事項でありました、熱の運搬技術と電気の運搬技術についてご報告をさせていただきます。

(資料3の説明)

会長 ご説明ありがとうございます。今ご説明がありました資料3について、ご意見ご質問

等ございますでしょうか。はい、どうぞ。

委員 一つだけ質問ですけれども、電池の運搬技術のところでは三菱重工の1 MWシステムがあるのですが、これってどういう用途で使われているかという情報があれば。

事務局 まだ実証段階から実用段階に移った間もない商品でして、防災対応であるとか、緊急時の使用を念頭においた開発であると聞いております。

会長 他にございますでしょうか。

一応今回のブレンストーミングでも、この2つについてはアイデアとして出ておりますので、それは継続して比較というか実用性とか色々比べていきたいというふうに思っています。一応現段階ではこういうことですよということでご報告をいただきました。よろしいでしょうか。それではですね、資料4-1、4-2、資料5について、まとめて事務局の方から説明していただきたいと思っております。

事務局 そうしましたら資料4-1及び4-2について説明をまずさせていただきます。

(資料4-1、4-2の説明)

会長 ありがとうございます。続けて資料5の説明もお願いします。

事務局 それでは続きまして資料5の説明をさせていただきます。

本日の委員会では、先ほどブレンストーミングを行っていただくにあたり、事前に資料を配布し、そのことによって様々なメニューを出していただくことを阻害することがないように、資料3から5につきましては当日配布とさせていただきますので、ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

それでは資料5をご覧ください。

(資料5の説明)

会長 ありがとうございます。

今、休止しているクリーンスポーツランドにつきましても、この都市計画法上の制約をクリアして建っているということになります。ですので、事業メニュー案のところでは整合性というのがありますけれども、これで判断をすると、できなくてもまた議論を進めていけると思っておりますので、できないから、△だからダメということにはならないということをご理解いただけたらと思っております。それでは資料4、資料5についてご意見をいただきたいと思うのですが、資料4、これは今日出していただいた付箋の案、大きく似たようなものは一緒にさせていただきますけれども、これに応じてまとめていくと結構な数ですので時間がかかると思うのですが、まとめていきたいというふうに思っております。経済性につ

いては過去に実績のあるものから概算で出していくと、なければご提示はできないですが、過去にあるものについてはそこから概算をしていくということでやっていきたいと思っておりますが、何か整理表について、こういったものを加えた方がいいとか、そういったものがあればご意見いただけたらと思います。いかがでしょうか。

委員

4-2についてなんですけれども、例えば電気スタンドの例でいくと、インターネットで電気自動車の充電設備がまとめられているウェブサイトがあるのです。最近見たら、豊中市内で17カ所あるらしいです。だいたいトヨタとか日産とかそういった自動車屋さんには付しているところが多いのですね。割とそれなりには点在していると思うのですが、ここでいうと大阪府と兵庫県で何基とかではなく、豊中で何基、伊丹で何基というふうなところで落とし込んで欲しいなと思います。あるいは、そのさっきのコンビニの議論とこれも同じだと思うので、じゃあここから一番近いのは伊丹側のどこだとか豊中のどこだとか、すぐ近くにあるからいらぬのか、いるといってもこの周りにないからいるのか、そういうところが判断材料になると思います。ただ府や県でみて多い少ないというのではない情報を盛り込んでいただきたいのが一つです。

もう一つなのですが、この例でいくと、もしこの電気スタンドが必要だったら他の施設に付随的に付けられるメニューだと思います。別に介護施設でも温室でも道の駅にでも付けようと思ったら横に付けてみる。主要施設に重なる施設だと思うのです。足湯なんかはそうなんじゃないかなと。端っこの方に足湯を付けようと思えばできると思うのです。例えば、それ一つをやったらほぼ面積を全部埋めてしまうようなメニューなのか、そうじゃなくおまけで付けることのできるメニューなのかというのは、少し分けて考えた方が後々の組み合わせを、考えていけるのかなというふうに思います。

会長

分かりました。特に2点目のところは重要だと思います。それを素案は方向性というかたちでカテゴライズされていますけれども、多分、規模とか占有してしまう面積というので分けていけばいいのではないかなと思うのです。付随施設的なもので分けていく、メインの施設で分けていくというようなことで分けられればいいと思っていますので、それは方向性というふうに分けられているところで区分されるかと思っています。

前の部分でおっしゃられていた部分というのは、都市計画等にも関連するのですけれども、周辺に重複しないかが関わってくる部分であると思いますので、これがもうちょっと分かるように、資料4-2の方ですよね、こちらのシートの方に書くようにして、素案の方は整合性について六つ書くとかそういうことは難しいと思いますので、それはまとめて◎、○、△というかたちになるのではないかなと思います。なので、今、一つ目の方のご提案に関しては、個別シートのところでもうちょっと詳しく書くようにすると、周辺との重複、ここから何キロ圏内に重複施設があるのかなのか、重複していいものなのか、重複しない方が良いのかというところですよ。そういった部分が分かるようにまとめたいと思います。他にございませんでしょうか。はい、どうぞ。

委員

事業メニュー整理表の経済性の方は結構割と出しやすいと思いますが、効果・メリット

については、結構これは主観が入ってくると思うのですけれども、それを◎、○、△、これの評価というのはどういうふうにして、クリーンランドの方との話し合いで決められるのですか。

会 長 そうですね、過去の事例があるとまとめやすいのですが、過去に事例がない場合はこちらで考えざるを得ないかなと思っています。過去に事例がある分に関しては、おそらく客観的に判断ができるのではないかなと思っています。
他にございますか。

委 員 整理表の中の確認なのですが、集客性というのが効果、メリットという項目にあって、あと地域貢献度の項目にも集客性と、二つ同じようなことが書いてあるのですが、どう違うのでしょうか。一つでもいいのではないかなというところと、あと、ニーズも社会的なニーズと市民のニーズ二つ書くようになっているのですが、これはどちらも同じではないかなと思うのですが、何か意図されていることがあるのでしょうか。

事務局 まず、集客性につきましては市民の方全体が知っていて、全体からたくさんの方が来られる施設と、それと地域貢献度の中の集客性というのは特に地域の方がたくさん来られるであろうといった部分については地域貢献度の中の集客性が高いというふうな整理をさせていただきたいと思っています。それと、社会的ニーズと市民ニーズというのは、特に市レベルで地域性もあってニーズが高い場合と、世間的、社会的な要求や要望、そういったものが全国的に広まっているようなものと、豊中市、伊丹市において特にその要望が高い部分についてということで今のところ、分けさせていただいているのですけれどもいかがでしょうか。

委 員 ありがとうございます。まとめるときに、○とか△とか記号だけで書かれると、あとで見たときに他の人がイメージしにくいなと思っています。コメントを添えれば良いのではないかなと思います。

事務局 経済性のところは数字が入っていて分かりやすい、一定の評価の基準が分かりやすいのですが、それ以外の部分については○を付けた理由、△を付けた理由をそれぞれ項目毎に書かせて頂きたいと考えております。でないと説明が難しくなりますので。

会 長 個別シートでフォローするということですね。それを一覧にすると結構な数がありますので、これを個別シートにすると。個別シートと表で案にすると。
他にございませんでしょうか。今出たこの案について、こういうことは調べてきてほしいよというものがありませんか。

委 員 集客性と地域の方の満足度、特に私らより先輩の方々、やはり地域ではそれだけの力を持っておられますから、その人たちの満足度と、また違ってくるのです。どういうふう

捉まえていくか。だから、お客さんがたくさんいたらそれでいいのだと言うならいいのですが、そうではなく、地域で良かったなど言ってもらえるようなものと一致すれば良いのですが一致するのか。

こういう施設を作るのに一般的なお風呂としましょう。お年寄りの方は、たぶん喜ぶと思います、送り迎えするという時間的なものも含めて。でも、それだったら経営として赤字になってしまう。お客さんがたくさん来られたら、経営としてやっていけます。しかし、そのときの答えとお年寄りの答えにやはりギャップがあってどう説明したら良いのか、いまだによく分からないのです。

私個人は、最初はおくまでも地域の方の満足度をずっと捉まえてきたのですが、途中で私、変わりましたですね。というのは、今までと同じ考え方なら絶対赤字になってしまうというのがあってそれではだめだろうと。できるだけお客さんを集めないといけないと。できるだけ多くの方が喜んでもらえるものを作らないと赤字になってしまう。そしたら、お年寄りの方は多少その辺でギャップはあるけれども、了解してもらわないと仕方がないというところがあって、こういうふうな感じで考えが変わってきたのです。

ただ、やっぱりまだ残っているのは、満足度に対して、私たちではなくて、今までこの施設を作ったときにどれだけ貢献されたかという、そういう方々が貢献されているんですよ。そういう方々が納得してもらえるようなものがそれで上手く説明できるかなというのがちょっと不安です。そんなことを言っても仕方がないのですけれどもね。でも僕としたら皆様が「ああ、それは良かった。いいものを作ってくれたな」と一人でも多く言ってもらえるようなものができれば、本当にありがたいのです。だからこの集客性というのをどう解釈したら良いのかなというのがちょっとむずかしい。

事務局

ここに集客性、先ほどもご質問頂いたように、集客性をという項目を2ヶ所に置かせていただいております。当然、委員がおっしゃられたように、利用者の方に利用の料金をいただく場合は、人が多く来る方が収益というのが上がるのは、もちろんなのですけれども、それとは別に地域貢献度、地域に関しての集客性というのを別に資料4-1の右の方に置いているかと思うのですけれども、集客性と満足度というのはニュアンスとしては重なっている部分がありまして、クリーンスポーツランドの方が、確か今回の委員会の中でもご発言ご意見あったかと思うのですけれども、非常に使われている方と地元の方の中でもあまり頻繁にはご活用されていない方がおられたというような話があったかと思うのですね。そういった中で、地元の方々に地元還元につながる余熱利用というのが諮問の中にもあったかと思うのですけれども、当然広く還元できるというのが観点の一つとしてあると思うので、ただ単純に人数がどうこうというほうは、今回の資料の左側の効果として置かせていただいております。それとは別に地元の方に広く使っただけかどうかというのを指標の一つとして地域貢献度の中の集客性のところで考えていけたら良いのかなと言うふうに思っておったのですけれども。

会長

おっしゃられていることはよく分かります。この事業メニューの整理については一般的にということでもとめさせていただきたい。それは、この事業メニューに関しても予算と

か規模ですね、それによって満足度が変わってくるはずなのです。大きくてリッチだったらたくさんお金をつぎ込んで、いいものを建てれば建てるほど、満足度も上がるだろうし、この土地にこれくらいの規模で建てたら、経済性も重視、効果も最適化できるような、一番落としどころになるようなところを探って、そのときにおける地域の方々への貢献度というのを客観的に出させてもらおうと考えています。

例えば年齢別にみてどうなのかとか規模でみたらどうなのかというところをいう前に、まずは一般的に資料にしましょう、調べましょう。実際に建てたわけでもないですから、過去の他の施設の例とかを用いますので客観的かつ一般化されたデータしか出てこないですね。なので、次にお出しする時点では一般的に地域貢献度として高めなのか普通なのか低いのか、というくらいしかご提案はできないと思います。そのあと具体的に、本当に住んでいる皆様が年齢別にとか、男女別にとか皆様個別にご意見いただいたときにどうなのかというのはまた別の話だと思うのです。まだ先の話だと思うのです。

ですので、今回何も制約なしに出していただいた経緯について一般的な客観的な立場から、ここにおける規模で効果と経済性、両方とも満たすような規模に設定した場合における貢献度がどれくらいなのか、ということですね。そういうのを一般的にさせていただいて、ご提示するということをご了解いただきたいのですが。ケースバイケースで、こうすれば貢献度が上がるよ、こうすれば貢献度が下がってしまうけれども黒字は確保できるよという議論はさらにあとのあとで議論したいと思います。ですので、まずは今この施設のところにこういう規模のものを入れたらというのを最適化して、ご提示させていただくということをご了解いただきたいのですが、それでよろしいでしょうか。

委員

自治会では、できるだけ参加をするような行事をということで皆様からアンケートを取った。子どもさんも喜んだら多分お母さんも来るだろうということで例えば姫路セントラルパークなんかに行ったら、たくさん来るじゃないですか、例えば70人来られました。ところがお年寄りの方はしんどくて参加なんてできないとの声が出る。では、どんなのがいいのですかと聞けば、ヘルスセンターがいいな、有馬のヘルスセンターとかに連れて行ってほしい。そしたら、そこへ行きましょうかとして行った。でも子どもさんは全然面白くない。この次からは30人くらいになってしまった。でも、効果としては70人の効果があるのだというふうなかたちを考えた方がいいのですか。

会長

それは選択をしなければいけないというふうなものであればそういう議論をしないといけないのですが、今回は選択する訳ではないです。今後の進め方というところにも話がありましたように、まず出されたアイデアについて全てをまず事業メニューとして整理しましょうと、こんな可能性がありますというのを出しましょう。そこから何か三つとか二つとか一つに減らしましょうというわけではないのです。

答申として方向性としては、こんな意見が出て、こういうメリット・デメリットがありますというところに留めさせていただくのが今年度の予定です。答申もメニュー案としてカテゴライズされたものですよね。例えば、お湯を使って温まれるような施設というふうの一つに限定しません。例えば岩盤浴に限定しますとか、お風呂にしますとか足湯にしま

すとかいうまとめ方にはせずに、お湯を使った施設というのがこういうメリットがあつて、こういうデメリットがあつて、というふうにまとめていくのです。

実際にこの今年度でこういう施設にしましょうというふうな議論ではないです。余熱利用の有効活用をするための委員会ですので、一つやいくつかに決める会ではありません。とりあえずは一般化されたものですよね、それを客観的に過去の事例を含めながら、まとめて皆様の理解を深めたいということですよね。もし組み合わせたほうがよいのだったら組み合わせたときの相乗効果、メリット、あと地域に空港を見られるようなスカイパークとか、そういうのと併せたらどうだとか意見に答申として出していくというだけであつて、何かこれ一つというような最終答案にはならない。そういうご理解をいただいて、まずは今いただいたアイデアについて客観的に分かるようにまとめましょう。そのまとめ方はこんな感じでよろしいでしょうかということ、今お話しをさせていただいていると思います。

委員

今のお話を聞いていて二つ気になって、二つ追加の意見なのですが、一つは4-2になるかもしれないですが、それぞれのメニューが一体どういった人をターゲットにしているかというのを出さないといけないのではないのでしょうか。例えば、スケートリンクだったらさっきの会長のご意見にあったように、両市民に限らないのですよ、きっと。でも、図書館だったら両市民なのでしょうね。あるいはそうじゃなくて、子ども向けの施設です、あるいは非常にご年齢の高い方の施設ですなど、最終どこかで判断するとき、地元でこんなご意見があるけれども、次世代のために若い施設に舵を切るのでとなるのか、色んな人向けのものを一個ずつメニューに併せてするのですとか。その判断をしていくためにも、それぞれのアイデアがどういう傾向になるのかということを出しておくべきではないかというのが一つです。

あと、4-1の地域貢献度のところで、◎、○、△がついていますが、これは経済性とかと違って非常に主観的な記号になっていくと思います。確かに一般論として整理していくのも大事なのですが、一般化しすぎていないかと思うのです。これを記号化するがゆえに逆に地元の方の想いと、この記号は合わないのではないかと思うのです。ここについては。例えば、効果のところは一般論で市民のニーズがあります。それは両市内、一般とか社会的ニーズで記号を付けられたらいいと思うのですが、逆に地域貢献度は文字で表現すれば良いのかなと思うのです。電気自動車の充電設備を付けるときに果たして地域の人は他の人と違って安く充電できるかできないか。できるのなら地元で安く充電できますよと書けばいいと思うのです。あるいは、そうではなくて道の駅で野菜を売りますということだったら、地元の方は野菜を出すことで提供側になりますよと。それ一つの貢献のかたちですよね。

この項目については、文字にして地元の方の想いとあまり外れないように、下手に記号がずっと最後までいってしまうと「え、地元ってこんな満足度だったか」と、整理方法の評価とに差が出てしまうような気がするのです、そこは少し最終的なところに至るまでにご調整いただいて、何かもう少し意向を聞けるような一覧にしたらどうかなというふうに思いました。

会 長 よくわかりました。ありがとうございました。まず、ターゲットについてはあった方がいいと思います。ターゲットは加えます。地域貢献度に関しては、ちょっと事務局と協議しまして、地元貢献度というよりは地元に対してのメリット・デメリットというふうなかたちで文字化、文字に表せるかどうかですよね、この◎、○、△というのは適切かどうか、整合性がとれるかどうかというのは、やはりご指摘のとおり、なかなか難しいところで、これが紙面に残ってしまうと誤解を招く可能性がありますので、地域にとってその施設がどんなメリットをもたらすのか、また地域じゃない人がたくさん使える施設についてはデメリットも発生する可能性があるということ、特記事項的な、地域に対してこの施設がどういうものになる可能性があるのかということについてまとめるという方がいいかもしれないので、それについては、こちらで考えさせていただいて、どちらかにしたいと思います。ありがとうございました。他にありますでしょうか。はい、どうぞ。

委 員 一点追加。今、地域の話がされていたのですが、ここにメリットだけを書くような欄が設けられているのですが、デメリットの方もやはり近隣の方というのは気になると思うので、そのデメリットについても何か一言でも書いた方がいいのではないかなと思います。

会 長 分かりました。他にございますでしょうか。少し時間を超過しておりますので、まとめの方にいききたいと思うのですが、よろしいでしょうか。それでは事務局から、その他報告連絡事項についてお願いします。

事務局 はい、本日は非常にたくさんアイデアをお出しいただきましてありがとうございました。事務局としましては次回までに全ての今日いただきました事業メニューの案につきまして、規模や内容を整理しまして経費等算出したうえで整理表にまとめる作業を行います。しかし、これには一定の時間が必要になると考えております。つきましては当初のスケジュールでは第6回委員会を7月開催予定としておりましたけれども、8月の開催とさせていただきますと思うのですが、いかがでございましょうか。

会 長 8月ではだめという方、いらっしゃいますでしょうか、大丈夫でしょうか。では、また予定を調整させていただいて8月、おそらくお盆前になるかと思うのですが、その日程で調整させていただきます。ありがとうございます。

事務局 ありがとうございます。そうしましたら具体的な日時につきましては、改めて皆様と調整させていただいたうえでご連絡をさせていただきます。よろしく願いいたします。

会 長 他に事務局から何かございせんか。
それでは、今日は3時間超えましたが長い時間、本当にありがとうございました。意見としては面白いものがたくさん出てきております。私はあっちのニーズの方が面白いなと思っており、また、うまくまとめて報告ができればと思っております。議事録には載

せられないと思いますけれども、別途、まとめたものを議事録に添えてお送りするようにいたしますので、よろしく願いいたします。それでは今回の第5回はこれで終了したいと思います。どうもありがとうございました。

以上

ブレーションストーミング テーマ3 事業メニューの提案について

※委員会時にまとめたものを原文のまま示しており、まとめ方についても当時のものです。

文化	環境	安全	少子・高齢化	コミュニティ	サービス	その他
電気を使ったアート作品イルミネーション	市の車、清掃車等電気自動車化	クーラー付備蓄基地	バーベキュー	スケートリンク	スーパー	ひょうたん
植物の育成 蒸気：温室での植物育成 冷めた蒸気：水耕栽培＋LED工場	電気自動車カーシェアリングの基地（駐車場）	高齢者用・団体用バス（タクシー）	野外活動施設（かまど、広場・・・）	桜で街や環境イメージアップより安全に	桜の名所	レンタル自転車基地
熱帯植物園	電気自動車の充電ステーション		ドーム型運動施設	スカイパークスカイランド（ハラダ）足湯	アート	アウトドア拠点（サイクリングなどのスタート場所）
高山植物室	発電の充実さらなる発電		保育施設（認可）	砂風呂	イベント広場	
温室施設	電力供給③市バス		介護施設	温浴施設（風呂・足湯・シャワー）	フリーマーケット	
温室	森と池			岩盤浴	電力供給①スカイパーク	
熱帯魚の飼育	剣道場			足を冷やす	電力供給②伊丹空港	
バードパーク				足湯	迷路	
観葉植物の栽培				足湯	スカイパークでのレストラン（空港を利用した食材調達） 1F：ファーストフード 2F：和食	
音楽の練習施設				親子などで参加できること（内容・・・）	運動施設（グラウンドゴルフなど）	
実験室				サウナ	冷凍倉庫	
親子向け科学実験				かま風呂	熱の宅配	
道の駅（トイシ、野菜販売）					温水施設 全国 温水めぐり	
生涯学習施設					ばら（バラ）	
					岩盤浴の施設	
					焼却施設の跡地にテニスコート	
					健康遊具設置（跡地公園に）	
					リサイクル工房	
					展望施設	